

グローバル・カフェ「セント・ピーターズバーグ市の高校生との交流イベント」を開催しました

2026 年 7 月 10 日(金)、「セント・ピーターズバーグ市の高校生との交流イベント」を開催しました。高松市と姉妹都市であるアメリカ・フロリダ州のセント・ピーターズバーグ市から、3 人の高校生、エラ・ブリッティンガムさん、コール・ランダースさん、エリス・チャンドラーさんが来学し、ケンパー先生のグローバル・カフェ授業「中級会話—自分の意見を述べる」の受講者を中心とする香川大学生と交流しました。学生 8 名、教職員 5 名、高松市役所の職員の方 3 名の計 16 名が参加しました。



最初にエラさんが「フロリダ州セント・ピートでのお気に入り」と題し、生まれ育った町で家族や友人と過ごすお気に入りの場所を紹介しました。「一番好きでよく訪れるのはアップラム・ビーチです。あの小さな黄色い売店が特に気に入りで、訪れるたびにポテトとチキンテNDERを注文するのが楽しみで、それがビーチでの時間をさらに特別なものしてくれます。」と語ってくれました。

続いてコールさんが、「セント・ピーターズバーグのパブリックアート」を紹介しました。同市には壁画や彫刻を中心としたありとあらゆる形態のパブリックアートがあります。2015 年から毎年開催されている「シャイン・フェスティバル」では、街中に約 200 点の壁画が製作されます。セント・ピートと高松市の姉妹都市交流を記念し、両都市で高松出身のアーティスト井口大輔が壁画を制作したそうです。



最後にエリスさんがとても上手な日本語で、国際都市セント・ピーターズバーグの魅力を語ってくれました。同市の人口の 14% はスペイン語、ベトナム語、ブルガリア語を中心とした外国語話者です。エリスさんもスペイン語を話す家庭で育ちました。様々な国のお祭りやイベントが開催され、文化に触れることができるそうです。

発表を聞き終わったあと、ケンパー先生が準備してくださったお互いへの質問シートをもとに、高校生と香大生が英語で交流しました。授業や部活などの学校生活について話し合い、高校生は日本の「塾」の話に驚いていました。実りある交流が長い時間続きました。

